

令和3年度 湖南小学校グランドデザイン

学校教育目標「湖南で学び、未来を創る子ども」

めざす子どもの姿

励む子

- ① 自分の力で課題に立ち向かう湖南の子
- ② 相手を認め大切にできる湖南の子
- ③ ふるさとを知り誇りに思う湖南の子

本校児童の良さと課題

- 良さ
 - ・素直で、明るい
 - ・みんなと協力することができる
 - ・任された仕事を責任もって行える
- 課題
 - ・自分の考えや気持ちを言葉で伝えるのが苦手

諏訪市未来創造「あい」プラン

- (1) 学びあいプラン ①学びの改革 ②ふるさと学習の実践 ③ものづくり教育を通じた相手意識と理科振興
- (2) 認め合いプラン ①不登校の減少と未然防止 ②いじめの未然防止
- (3) 支え合いプラン ①早期からの相談 支援体制の整備 修復的対話 MIMの活用 ②ノーマライゼーションの考え方による特別支援教育の充実

重点1 自ら学ぶ

わかる授業づくり

- ・高学年を中心に教科担任制の試行
- ・授業がよくなる3観点の充実(「ねらい」「めりはり」「見とどけ」にそった授業改善を行なう)
- ・教材研究の工夫(教材研究に力を入れ、児童にとってわかる授業、楽しい授業を目指す)

授業のユニバーサルデザイン化

- ・どの児童もわかる、できる授業の工夫(1時間の授業の流れがわかるように掲示する。日付、授業のねらい、まとめを黒板に明記する)

授業の約束づくり

- ・湖南小学校の授業の約束の作成(1年生から6年生まで、共通した湖南小学校の授業の約束をつくり共有する)

重点2 ともに学ぶ

あいさつができる湖南小

- ・相手を認めること(人権教育)の基本としてのあいさつ
- ・児童会によるあいさつ運動
- ・おとな(教師、親、地域)からあいさつ

対人関係力の育成

- ・ペア学習やグループ学習
- ・対人関係ゲームやエンカウンター
- ・ソーシャルスキルトレーニング(SST)

特別支援教育の充実

- ・インクルーシブ教育
- ・多様性を認める学校
- ・学びの場の見直し

安心して学べる学校

- ・担任だけでなく学年・チームで育てる
- ・QUの活用
- ・いじめ未然防止、早期発見・早期対応
- ・不登校の未然防止

重点3 地域に学ぶ

ふるさと学習の充実

- ・湖南地区の森林組合の協力を得て、森の機能を知る(水源涵養・土砂災害防止樹木の種類)・森づくり・山林管理の体験森で遊ぶ。

地域の方から学ぶ

- ・湖南の伝説やいわれ、身近な神社や石仏などを訪ねたり、お話を聞いたりして、ふるさと湖南の良さを感じる。

防災教育

- ・地域と進める防災・減災訓練を貴重な体験の場と位置づけ、防災教育を進める。過去に被災した場所を実際に訪れ、体験者からお話を聞く。

キャリア教育

- ・相手意識に立つものづくり科の学習をキャリア教育の場と位置づける。

【学力向上策】

- I 授業改善…①授業がよくなる3観点を大切にしたい授業改善(「本時のねらい」と「本時のまとめ」を黒板に明記)
②授業のUD化(授業の流れをホワイトボードに書き掲示)
③主体的対話的な学び(ペア学習・グループ学習を積極的に取り入れる)
- II 検証方法…全国学力学習調査や客観テストによる検証、課題の分析と改善策の実施
- III 指導力向上…①信州型UDを使った研修(子ども目線に立った振り返り)②指導者を招いて学ぶ(指導主事などの指導者を招き指導を頂いて授業力を高める)

地域との連携

- ・地域の各区と協力して行う防災減災訓練(日曜日登校)(区長会・消防団等との連携)
- ・公民館、博物館、美術館等との連携

湖南小学校 CS 学校運営委員会

- ・あいさつ活動、美化活動の実施
- ・学校支援部(花まるこなみ、おはなしポプラ、キョロブラ、田んぼボランティア、登山ボランティア等)